

交通ちば



VOL. 392 平成23年1月1日



千葉県交通安全活動推進センター
(財)千葉県交通安全協会連合会



「交通安全県ちば」の確立を目指して

財団法人千葉県交通安全協会連合会

会長 吉成 儀

新年明けましておめでとございます。

平成23年の新春を寿ぎ謹んでお慶びを申し上げます。

皆様方には地域における交通安全活動のリーダーとして交通事故防止のため御尽力いただいておりますこと心から敬意を表しますとともに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、県を始めとする各自治体、警察、関係機関そして県下44交通安全協会と連携し、「みんなであつろう 交通安全県ちば」をスローガンに年間の交通事故死者数抑止目標の達成に向けて、四季の交通安全運動はもとより、年間を通じ街頭指導や保護誘導活動及び広報啓発活動等の各種交通事故防止活動を活発に推進しました。

また、連合会といたしましては、各世代を対象にした交通安全教室の開催、高齢者の交通事故防止のため反射材付き啓発物の配布、自転車交通の秩序化に向け自転車安全利用の呼びかけ、飲酒運転根絶を訴えるステッカーやハンドルキーパー運動（友人等と車で飲食店に行つて飲酒するとき、飲まない人「ハンドルキーパー」を決め自宅まで送り届ける運動）を県民に周知するためのパンフレットを作成・配布してその普及を図る等交通ルール、マナーの遵守意識の向上に努めました。

これらの活動に積極的に取り組んだ結果、本県は交通

事故死者数抑止目標である「11年連続減少」と「1995人以下」を達成することができました。

まさに、皆様を始めとする県民一丸となつての交通安全活動の賜と思うところです。

しかしながら、まだまだ多くの方が負傷し、亡くなつていく状況にあり、依然として交通死亡事故多発県であることに変わりありません。

当連合会といたしましては、決意を新たにして関係機関、団体の皆様と連携・協力し交通事故防止活動を積極的に推進していきたいと考えております。

本年も警察をはじめ関係機関の御指導をいただきながら、「交通安全コミュニティ事業」や「出前式の交通安全教室」等を更に充実させ、地域に密着した交通安全活動を推進し、本年新たに設定されました交通死亡事故抑止目標（平成23年は180人以下）を達成させ、「交通安全県ちば」の確立に向け邁進してまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層の御協力をお願い申し上げます。

結びに、本年も当連合会及び各地区交通安全協会に対する御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、交通安全活動に関わります皆様方並びに御家族の御健勝と御多幸を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。



「安全・安心日本一の千葉県」の実現を目指して

千葉県知事 森田 健作

明けましておめでとうございます。

千葉県交通安全協会連合会並びに各地区交通安全協会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様には、日ごろから交通事故防止に向け、地域に密着した各種の交通安全活動に御尽力いただくとともに、県政各般にわたり御支援と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は、年当初に年間事故死者数の抑止目標を195人以下と定め、関係機関・団体の皆様と連携し、各種対策を講じた結果、その目標を達成することができました。同時に、全国で唯一11年連続の減少という全国に誇れる、大きな成果を上げたところです。

しかしながら、未だに多くの尊い命が交通事故により奪われ、交通死亡事故多発県である状況に変わりはありません。

特に、昨年は、交通事故により亡くなられた方のうち、高齢者の占める割合が約5割にのぼり、今後も更に増加することが懸念されます。また、お子様が犠牲となる交通事故も、依然として少なくありません。

交通事故により突然人生を奪われることは、当人の無念さはもとより、残された御家族、御友人の方々の心中を察すると、絶対にあつてはならないものだと

思いを新たにしています。

交通事故を1件でも減らし、交通事故死者数ゼロ、交通安全県ちばを実現するために、県、警察をはじめ、皆様方交通安全推進関係機関・団体等とのチームスピリットのもと、着実かつ効果的に交通安全対策を進めていくことが必要です。

県では、昨年策定した県民の「くらし満足度日本一」を基本理念とする新たな総合計画「輝け！ちば元気プラン」の中で、交通安全を県政の重点施策の一つとして掲げ、四季の交通安全運動を始め、シートベルトの着用推進、自転車安全利用等の広報啓発活動や、幼児から高齢者まで、年代に応じた実践的な交通安全対策を積極的に推進しています。

皆様におかれましても、歩行者、自転車、高齢者マークを表示した自動車等を見かけたら、思いやりの気持ちを持った運転をしていただくとともに、街頭活動や高齢者宅訪問活動等の機会において、高齢者やその御家族に対する交通安全教育を積極的に進めていただくなど、引き続き地域に密着した交通安全活動に御尽力くださいますようお願いいたします。

結びに、財団法人千葉県交通安全協会連合会並びに各地区交通安全協会の今後ますますの御発展と、会員の皆様の御活躍、御健勝をお祈り申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



「安全で安心な交通社会の実現」に向けて

千葉県警察本部長 五十嵐 邦雄

あけましておめでとうございます。

千葉県交通安全協会連合会並びに各地区交通安全協会の皆様方には、御家族共々輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から警察業務各般にわたり多大な御支援・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、日頃は、地域に密着した交通安全活動により、交通事故防止に努められていることに対しまして敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

平成22年中の 千葉県交通事故死者数 **184人** (前年比-13人)

11年連続減少するも、 高齢者の死者が約半数を占める

平成22年中の県内の交通事故死者数は184人で、11年連続して減少させ、設定していた抑止目標195人以下を達成することができました。しかし、死者のうち65歳以上の方の占める割合が48.9パーセントと約半数となっています。新しい年、新たな気持ちで思いやり運転を誓い、交通事故防止にご協力をお願いします。
(※速報値ですので、修正されることがあります)

発生状況

区 分	累 計	前 年 比
発生件数	25,883件	- 417件
死亡事故件数	179件	- 15件
死者数	184人	- 13人
負傷者数	32,107人	- 397人

(人)

死者の状況別

	区 分	累 計	前年比
歩行者	子 供	1	- 1
	高 齢 者	54	+ 5
	そ の 他	25	+ 2
自転車	子 供	1	- 3
	高 齢 者	20	- 1
	そ の 他	8	- 8
二輪車	若 者	7	- 7
	高 齢 者	8	+ 1
	そ の 他	15	- 13
四輪車	若 者	14	+ 8
	高 齢 者	8	- 1
	そ の 他	23	+ 5
そ の 他	0	± 0	

(人)

死者の多い都道府県

順位	区 分	累 計	前年比
1	東 京	215	+ 10
1	北 海 道	215	- 3
3	茨 城	205	+ 6
4	大 阪	201	- 4
5	埼 玉	198	- 9
6	愛 知	197	- 30
7	兵 庫	192	+ 16
8	千 葉	184	- 13
9	神 奈 川	182	+ 6
10	福 岡	170	- 25

げます。
さて、千葉県における昨年の交通事故死者数は184人であり、目標でありました「交通事故死者数11年連続減少・アンダー195」を達成することができました。
このような成果を収められたのも、ひとえに、貴協会並びに地区協会はじめ関係機関・団体の御尽力の賜物と改めて感謝を申し上げます。
しかしながら、本県の交通事故死者数は、依然として全国ワースト上位にあり、交通死亡事故多発県であることに変わりはありません。
特に、交通事故死者に占める高齢者の割合が高く、その中でも歩行中や自転車乗車中に亡くなる方が多く高齢死者の8割以上を占めるとともに、高齢運転者が第一当事者となる事故も増加傾向にあることから、高齢者を重点とした各種対策が大きな課題であります。
このような交通死亡事故を1件でも減少させるためには、車を運転する全ての方が歩行者や自転車乗車中の高齢者などに対する思いやりのある運転を心がけ、実践していただくことが何よりであり、横断歩行者の保護を目的として推進しております「ダイヤパッシング運動」を継続して実践していただきたいと思います。

また、依然として飲酒運転による事故が後を絶たない状況にあることから飲酒運転を根絶するため、取締りはもとより、官民一体となった啓もう活動を推進するとともに、貴協会が推進している「ハンドルキーパー運動」を一層広めていただき、家庭、地域、職場等において、飲酒運転をしない・させない・許さない社会環境を構築していくことが重要であります。
県警といたしましては、交通死亡事故の減少傾向を定着化させるため、平成23年の交通警察重点目標の第1に「交通死亡事故抑止」を掲げて、各種交通安全対策を強力に推進してまいりる所存であります。
交通安全活動のリーダーとして、地域の最前線で御活躍いただいている皆様方におかれましても、「安全で安心な交通社会の実現」に向けて、それぞれの地域におきまして高齢者の保護・誘導活動を強化していただくとともに、飲酒運転根絶運動をなお一層高めていただくなど、引き続き御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、千葉県交通安全協会連合会並びに各地区交通安全協会の益々の御発展と、皆様方の御健勝を心から祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

年間スローガン入り ポスターデザイン募集

応募要領

- 作品には必ず**最優秀作受賞スローガン**を原文のまま入れる。
- 車内の人物にはシートベルトを、自転車に乗った幼児・児童にはヘルメットを着用。
- 一般部門（運転者向け、歩行者・自転車利用者向け）は一般のほか小・中学生も可。子ども部門は小・中学生に限る。
- 一般部門の作品サイズはB2判タテ型。子ども部門は四ッ切り画用紙かB3判でタテヨコ型自由。

応募方法 部門、住所、氏名、生年月日、職業、電話番号を明記（小中学生は学校名、所在地、電話番号、学年を併記）した応募票（自作可）を作品の裏面に貼付の上

〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
毎日新聞社事業本部

「交通安全ポスター」係
（電話03-3212-0190）へ送付

締切日 平成23年1月31日（必着）

平成23年使用 交通安全年間スローガン

本県から4点が選ばれました（◎のついているもの）

◎	最優秀作	ぼくはここ	千葉県香取市	鈴木優一郎	指定席
◎	優秀作	運転の マナーが光る	新潟県	長橋 正宣	
◎	優秀作	一滴が 涙に変わる	千葉県千葉市	上中 直樹	
◎	佳作	安全運転 ココロのベルトも 引き締めて	千葉県千葉市	倉富みどり	
◎	歩行者・自転車利用者に対するもの	行けるかな 渡れそうでも 待つ勇氣	千葉県千葉市	兵庫県 村岡 孝司	
◎	最優秀作	自転車も 歩行者優先 いいマナー	三重県	小林 秀夫	
◎	優秀作	反射材 つけて輝く 身の用心	大阪府	鈴木 昭博	
◎	子ども部門	星キラリ 自転車ピカリ 帰り道	岩手県	佐々木久歌	
◎	優秀作	あぶないよ いそぐきもちが じこのもと	静岡県	河井 隆晟	
◎	優秀作	目的地 「早く着く」より 「ぶじに着く」	富山県	松葉 綾斗	
◎	優秀作	運転手さん 急いでいるのに ありがとう	千葉県旭市	伊東 英剛	

各地の交通安全活動ニュース



香取 神崎町立米沢保育所で横断歩道の渡り方を指導する。



流山 市民まつり会場で啓発物を配り安全協会の周知を図る。



千葉南 緑区ふるさとまつり会場近くで交通整理に従事する。



東金 市立第五保育所で横断歩道の渡り方を指導する。



印西 印西牧の原駅周辺で反射材などを配り無事故を訴える。



鎌ヶ谷 歳末警戒で飲酒運転根絶を訴える啓発活動を行う。

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会費は、地元の交通安全協会の交通安全ボランティア活動に活用されています。

発行 財団法人 千葉県交通安全協会連合会

ホームページアドレス
<http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番
千葉県警察本部交通部運転免許本部内
電話 043-271-8481

交通ルールを守って
つながる笑顔

